



小児用

肺炎球菌ワクチン接種について

肺炎球菌とは？

肺炎球菌は、子どもの細菌性髄膜炎の第2位の原因菌です。どもの上気道に感染した時に、化膿性髄膜炎、敗血症、肺炎などの重篤な全身感染症や中耳炎、副鼻腔炎などの気道感染症を起こします。肺炎球菌による化膿性髄膜炎は、150人前後が発症していると推定されています。ヒブによる髄膜炎より予後が悪く、約21%が予後不良とされています。

ワクチンを接種したあとは？（副反応）

- 予防接種を受けた約30分間は、接種会場でお子さまの様子を観察するか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- 副反応として、接種部位の紅斑・腫れ・しこり・痛み・発熱などが認められています。

健康被害の救済制度

万が一、市町村の実施する予防接種で健康被害が生じた場合は、国の審議の下、予防接種法に基づく給付が受けられます。

接種対象者とスケジュール

対象年齢 (接種開始年齢)	接種回数	接種スケジュール
生後 2～6ヶ月	4回	(※1) 初回1回目 → 27日以上 → (※2) 初回2回目 → 27日以上 → 初回3回目 → 60日以上 → 追加 ●追加は1才以降
生後 7～11ヶ月	3回	(※1) 初回1回目 → 27日以上 → 初回2回目 → 60日以上 → 追加 ●追加は1才以降
1才	2回	1回目 → 60日以上 → 2回目
2才～4才	1回	1回

(※1) 2才を超えた場合、未接種分の初回接種は受けられません。最後の接種から60日以上おいて、追加接種のみ受けて下さい。

(※2) 初回2回目の接種が1才を超えた場合、初回3回目の接種は受けられません。初回2回目の接種から60日以上おいて、追加接種のみ受けて下さい。

予防接種のための必要な間隔

予防接種との間隔

ヒブ・4種混合ワクチン・DPT・不活化ポリオ・日本脳炎・インフルエンザ・B型肝炎・DT・子宮頸がんの予防接種を受けた人

6日以上あける

BCG・MR・麻しん・風しん・おたふくかぜ・水痘(みずぼうそう)・ロタの予防接種を受けた人

27日以上あける

病気との間隔

ひきつけ(けいれん)を起こしたことがある人
その他、病気で現在治療中の人は、主治医と相談のうえ接種してください

麻しん・風しん・おたふくかぜ・水痘(みずぼうそう)が治ってから

2～4週間以上あける

手足口病・りんご病・突発性発疹・インフルエンザ・かぜなどが治ってから

1～2週間以上あける

他の予防接種を受ける時

※接種した翌日から数えます。



小児用肺炎球菌予防接種 予定の保護者の方へ

いつ、どこで受けるの？

● ワクチンについて

- ・小児用肺炎球菌は、定期（接種するよう努めなければならない）予防接種です。

● 受ける場所

- ・別紙の個別予防接種指定医療機関よりご自分で選び接種して下さい。

● 対象者

- ・生後2ヶ月～5才の誕生日の前日まで

● 受け方

- ・接種回数とスケジュールは、裏面を確認後、医師にご相談下さい。
その際、集団接種（平良保健センターや伊良部地区で行われる予防接種）の日程と重ならないように注意しましょう。

● 接種料

- ・対象年齢時は無料（公費負担）です。

● 持参するもの

- ・予診票
- ・親子健康（母子）手帳を持参

※集団接種の予定を確認し、接種機会を逃さないよう計画的に接種しましょう

お問い合わせ

予診表の再通知
について

宮古島市健康増進課予防係

73 - 1978

通知以外の事
について

宮古島市平良保健センター

73 - 4572